

掲載日 2026 年 6 月 23 日

当院において治療を受けられた患者・ご家族さまへ

下記研究へのご協力をお願い

当院では、診療の質の向上および医療の発展を目的として、以下の研究を実施いたします。

研究においては、患者さまの情報は個人が特定されない形で使用いたします。

なお、本研究は当院倫理委員会の審査・承認を受けております。

(申請番号： 2026 - 01 受付日 2026 年 5 月 29 日)

1	研究の名称	入院患者を対象とした集団的個別アプローチの効果 ～高齢期患者にとって「意味のある活動」として成り立っているか～
2	研究の対象 となる方	当院入院患者、フローレンス入所者。
3	目的・意義	当院リハビリテーション部では今年度からPT・OTで集団的個別アプローチを行っている。今回その効果を明らかにするためPT・OT共通スケール・A-QOA（活動の質を21項目の観察視点から客観的に評価し点数化したもの）などの各種評価を用いて集団的個別アプローチにおける活動の質を捉える。得られた結果からより良い治療・支援内容を明確にし、リハビリの質向上を目指すことを目的とする。
4	研究方法・ 研究期間	R8年1月～4月の参加者に各種評価とアンケートを実施した。参加は週1回×3か月間とし、PT・OT共通評価のA-QOA、アンケートは初回参加後・1か月後・2か月後・3か月後に実施した。さらにPTは身体バランス機能を評価するボルグバランススケール（BBS）と、動作中のバランス能力と転倒リスクを評価する臨床的指標であるファンクショナルリーチテスト（FRT）を実施した。OTは改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、フェイススケールを実施した。
5	研究に使用 する情報と 収集方法	研究対象期間内に当院入院または介護医療院に入所している集団リハビリに参加可能な患者・利用者のうち、各種データの欠損を認めない32名を対象とする。定期評価で用いるリハビリ指標はそれぞれ対象となる患者のリハビリカルテから抽出。
6	個人情報 の取り扱い	抽出した患者データについて、個人名を匿名化し、各種評価データから個人を特定できないようにする。具体的な発症日や入院日等の日時は公表しない。
7	研究対象者に 生じる負担並びに 予測されるリスク とその対策	特になし。
8	情報等の 保管及び 廃棄の方法	個人情報を取りまとめたデータファイルについては暗証番号によるロックをかけ、研究終了後は一定期間経過後に破棄する。データはリハビリ部内のPCのみで使用する。
9	研究に関する 情報公開の方法	愛全会学術研究発表会、日本慢性期医療学会にて発表予定。
10	お問い合わせ	この研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、この研究にご了承いただけない方は、令和8年8月31日までに下記の研究責任者までお申し出下さい。その場合においても、患者さまの不利益が生じることはございません。 医療法人愛全会 愛全病院 部署： リハビリテーション部 研究責任者： 山田 康子 連絡先： 011-572-5330（リハビリテーション部直通）